

2015年1月30日

各 位

J X 日 鉱 日 石 開 発 株 式 会 社

## マレーシア 深海 R 鉱区の権益一部譲渡について

当社（社長：三宅 俊作）が 100%出資する JX 日 鉱 日 石 サバ深海石油開発株式会社（社長：和佐田 演慎、以下「JX サバ深海」）は、マレーシア 深海 R 鉱区（以下「本鉱区」）において、オペレーター（操業管理会社）として探鉱事業を推進しておりますが、このたび、当社事業ポートフォリオ戦略の一環として、JX サバ深海が保有する本鉱区権益 37.5%の一部（10%）をオーストラリアの石油・天然ガス開発会社 Santos Limited の子会社 Santos Sabah Block R Limited. へ譲渡しましたので、お知らせします。

なお、本鉱区のパートナーであるインペックス南西サバ沖石油株式会社（以下「インペックス南西サバ沖石油」、国際石油開発帝石株式会社の子会社）も同じく保有権益 37.5%の一部（10%）を Santos Sabah Block R Ltd. に譲渡しており、これら権益譲渡後の本鉱区参加各社の権益比率は、JX サバ深海 27.5%、インペックス南西サバ沖石油 27.5%、ペトロナスチャリガリ（マレーシア国営石油ペトロナスの子会社）25%および Santos Sabah Block R Limited. 20%となります。

本鉱区は、マレーシア・ボルネオ島沖合に位置する水深 100m~1,400m、面積約 672 km<sup>2</sup>の深海探鉱鉱区で、本鉱区が位置する海域周辺では複数の大規模油田が発見されております。本鉱区では、2012年1月の鉱区取得後、3次元地震探鉱作業等を実施し、試掘井掘削に向けた準備を進めており、2015年に3坑の試掘井を掘削いたします。JX サバ深海は、パートナーとともに本鉱区の探鉱事業を着実に進めてまいります。

当社は、マレーシアにおいて、本鉱区での探鉱事業に加え、ボルネオ島沖 SK10 鉱区における天然ガス生産・開発事業およびボルネオ島沖深海 2F 鉱区における探鉱事業を、オペレーターとして推進しております。また、ボルネオ島沖 SK8 鉱区での天然ガス生産事業、マレー半島沖 PM308A 鉱区およびボルネオ島沖深海 3F 鉱区の探鉱事業にも共同事業パートナーとして参画しております。

当社は、マレーシアをコア事業国の一つと位置付けており、新規事業機会の獲得も含め今後も同国での石油・天然ガス開発事業を積極的に展開してまいります。

### 【プロジェクト概要】

- (1) 鉱 区 名 : マレーシア 深海 R 鉱区
- (2) 鉱区面積 : 約 672km<sup>2</sup>
- (3) 鉱区取得 : 2012年1月17日
- (4) 権益比率（権益譲渡後）：

JX サバ深海	27.5%（オペレーター）
インペックス南西サバ沖石油	27.5%
PETRONAS Carigali Sdn. Bhd.	25.0%
Santos Sabah Block R Limited.	20.0%

以上